

カレーなバトンパス

作 令和五年度 伏見板橋小学校

れいわ ねんど ふしみいたはし がっこう

給食調理員
きゅうしよくちようりいん



伏見板橋小学校は、もうすぐ運動会です。
ふしみいたはし がっこう うんどうかい

今は、中間休み。おいしいそうなカレーのにおいが学校中にただよっています。
いま ちゅうかんやす がっこう

二年二組の井田本希君は、校庭でリレーのバトンパスの練習をして
ねん くみ いだもとのぞみくん こうてい れんしゅう

いる上級生たちをぼうつとながめていました。希君は「ああ、おなか
じょうきゅうせい のぞみくん

すいた。」とつぶやきました。

「今、給食のカレーはどこまでできているんだろう・・・」
いま きゅうしよく

給食のカレーは、おかあさんが作るあまいカレーともちがう・・・
きゅうしよく つく

レストランで食べる本場のスパイシーなカレーともちがう・・・
た ほんば

給食のなんとも言えないおいしいカレー…。

いったい給食室でなにがどうなっているんだろう。

希君は、運動場でバトンプスの練習をしている

上級生たちがだんだんカレーの材料に見えて

きました。運動場でカレーにバトンプスの練習を

している上級生たちみたいに、給食室でカレーの

材料たちもまないたの上でコロコロとリレーの練習を

しているんじゃないかな。希君はそんなことを考え始めました



さあ！板橋おいしい小学校も、もうすぐ運動会です。今日は白本ののみ子

先生が、特別に野菜組ヘリレーの応援に来てくれています。

「みんな！リレーはバトンプスが最大のカギよ！カレーなバトンプスで優勝しま

しょう！」

野菜組のリレーのチームはもう決まっています。チーム名は『カレーライス』。

代表委員の玉木ねぎ子ちゃんは、リレーの順番が書かれている紙をののみ子

先生に見てもらいました。

第一走者、玉ねぎの玉木ねぎ子ちゃん。第二走者、牛肉の牛尾オウジロウ君。

だいさんそうしや 第三走者、しょうがの土田しょうが君。第四走者、にんじんの新田じん子ちゃん。

だいいごそうしや たまき 第五走者、玉木ねぎ子ちゃん。アンカーはじゃがいもの男しやくいも男君。

はくもと 白本ののみ子先生は、リレーのチーム表を見てびっくり

しました。のみ子先生は心配そうにねぎ子ちゃんに

言いました。

「ねぎ子ちゃん、あなた、二回も走るの？だいじょうぶ？」

ねぎ子ちゃんは言いました。

「はい！だいじょうぶです。わたし、走るの大すきだから！」



そういえば、ねぎ子ちゃんといも男君は陸上部。大会で一位、二位をとったって、

この前の朝会で表彰されていました。のみ子先生はそのことを思い出しまし

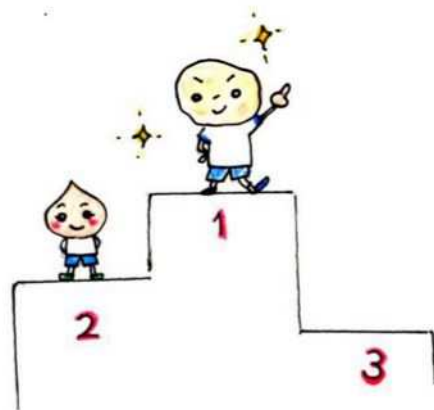
た。そして、ねぎ子ちゃんは言いました。

「そう。走るの大すきなの。カレーなあなたたちの

走るすがたを楽しみにしているわ。」

ねぎ子ちゃんはそのことを聞いて、とてもうれしく

思いました。



こうして、本格的にリレーのバトンパスの練習が始まりました。ねぎ子ちゃんが走って牛肉のオウジロウ君にパス！ つづいてしょうが君にパスを

してじん子ちゃんがねぎ子ちゃんにパスをします。そして、

ねぎ子ちゃんがいも男君にパスをすると、いも男君は、

うまくバトンをうけとることができませんでした。何回

してもバトンをおとししてしまいます。すると、いも男君は、

「ぼくにはムリだよ。」

とうとうなきだしてしまいました。



そんないも男君を見て、ねぎ子ちゃん以外のみんなは

「じゃあ、順番かえようか？」

といました。

ねぎ子ちゃんは、少しなみだ目になりながら

「いも男君、この前の大会、私をぬいて一位とったじゃない！」

あの時のわたしをぬいていくあなたのすがた、すごくかつこ

よかったわ！ あの時の一位だって、いっぱい練習して一位とったのよ。

ぜったいにいも男君がアンカーよ。みんな応援している！がんばりましょう！」



いも男くんはいつししょうけんめいに言ってくれるねぎ子ちゃんや
心配してくれるみんなを見てみると、元氣が出てきました。

「そうだね。あきらめずにがんばるよ。」

こうして心がひとつになったリレーチームを見た

のみ子先生は、自分もみんなのために何か

できないかしらと、思いました。

「そうだわ！ わたしのとくいなカレールウクッキーをやいて、
走りおわたたらみんなにメダルとしてプレゼントしましょう。」



それから何日も何日も練習をくりかえしました。二回も走るねぎ子ちゃんは、
体力づくりのために学校から帰った後も暑い中、いっぱい練習しました。その

ために日焼けをしてツヤツヤのアメ色にかがやきました。

さて、今日は本番です。大すきな竹原オール先生と

釜谷ジョー一郎先生のまっているゴールまで、みんな

バトンをつなぎます。

まずは、第一走者、玉木ねぎ子ちゃん。ねぎ子ちゃんはいっぱい
練習してつやつやアメ色になったすがたで、カレーにバトンパス。



第二走者は牛肉のオウジロウ君。オウジロウ君は

最近転校してきたのですが、リレーのメンバーに

えらばれて、今や野菜組のりっぱな一員です。

ジューシーにカレーなバトンパス。

第三走者は、土田しょうが君。しょうが君は

楽しいこと大すき。にぎやかコンビのになにく

にく美ちゃんは、今日は応援席です。にく美ちゃんは、大声で声援してみんなを

もり上げます。しょうが君はおいしいかおりでカレーにバトンパス。



第四走者はにんじんの新田じん子ちゃん。じん子ちゃんは

おしゃれが大すき。さすがですね。走りながら、星やハートの

ラッキーにんじんになって、カレーにバトンパス。

第五走者は、二回目のねぎ子ちゃん。もう一度がんばって

走ります。ねぎ子ちゃんは走りながら考えます。

「いも男君にじょうずにバトンをわたせるかしら」カーブをまがったところで

いも男君のすがたが見えました。いっぱい練習をしてきたいも男君は、もう自信

のなさそうな顔ではありません。つらい練習をあきらめずにがんばった努力、



やさしく声をかけてくれたみんなの気持ち、
自分のことをさいごまで信じてくれた仲間。
いも男君は自信いっぱいのおしやくいもの顔です。
ねぎ子ちゃんは、アンカーのいも男君にバトンを
わたしました。いも男君は、ねぎ子ちゃんから
もらったバトンをじょうずにキャッチして、ゴールをめざします。
ゴールでは、オール先生とジョー一郎先生とのみ子先生が
みんなをまっています。



「ミートスパゲティチーム」「ポークビーンズチーム」「こうやどうふのそばろ煮
チーム」をぬいて、ぶっちぎりの一位で「カレーチーム」がゴールしました。
野菜組のみんなはオール先生とジョー一郎先生につつまこまれました。
ジョー一郎先生はあつく言います。
「みんな、よくがんばったね。すごいぞ！」
オール先生は野菜組のみんなの頭をやさしく
なでながら言いました。
「すばらしいカレーなチームだったよ。」



野菜組のみんなはつらかった練習を思い出し、やさしくしてくれる先生たちや
リレーのメンバーに選ばれなかった仲間たちの歓声、あたたかい気持ちに心まで
やわらかくなり、なみだが出てきました。

そんな野菜組の子どもたちを見ていたのみ子先生は、言いました。

「あなたたちのがんばるすがた、とてもすばらしかったわ。リレーって走る時は
一人だけど、バトンをつなぐ時にチームになって、また一人で走る。一人で走って
いても、バトンをわたす次の人のことを考えながら走るから、心の中にチームの
みんなの信じる気持ちが生まれるのね。あなたたちを見てみると、仲間ってほん

とうにすてきなんだなと思ったわ。そんな君たちに、

先生特せいのカレールウクッキーメダルを焼いて

きたのよ。さあ、めしあがれ！」

「ミートスパゲティチーム」はトマトクッキー、

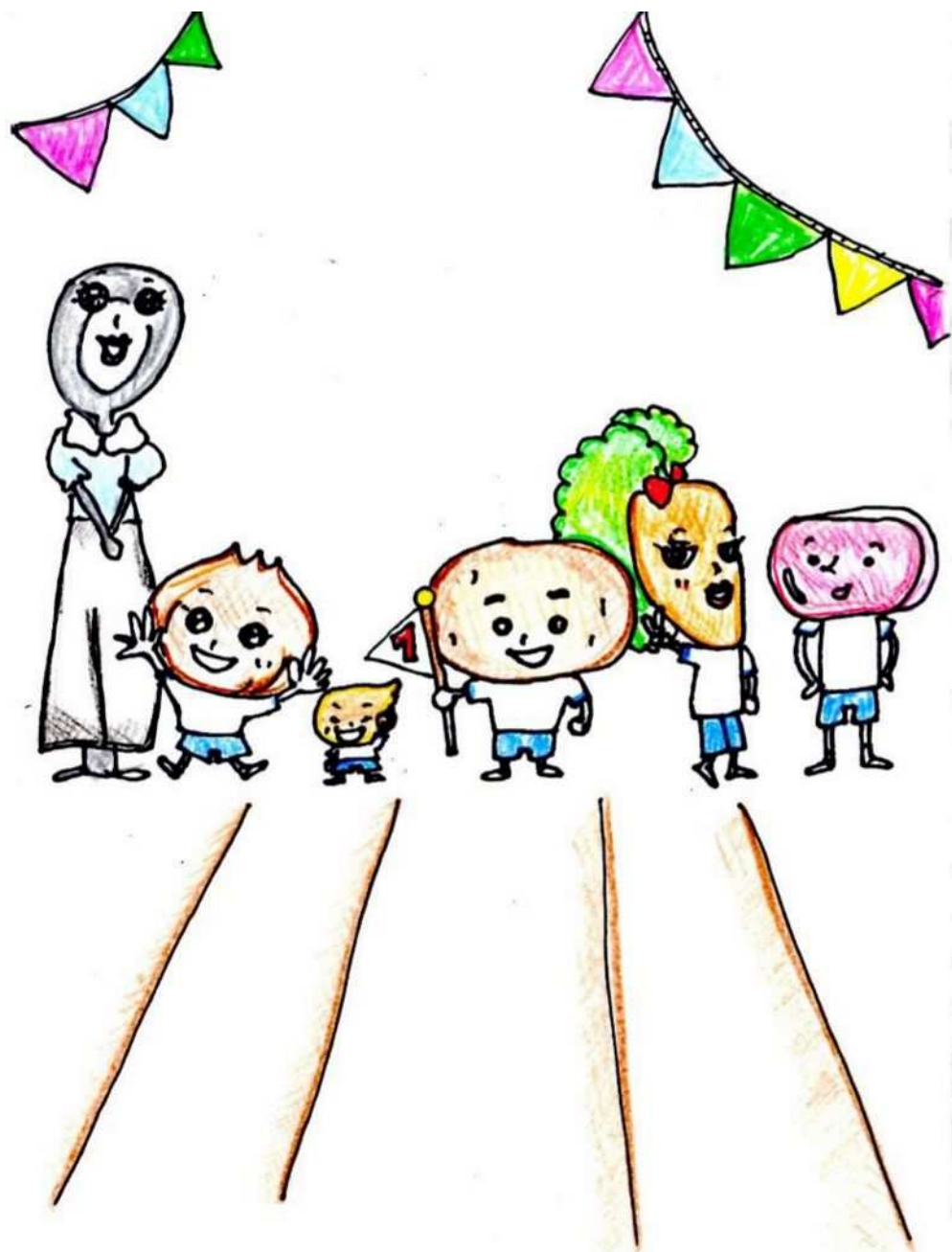
「ポークビーンズチーム」はおからクッキー、

「こつやどうふのそぼろ煮チーム」は、だしあじ

クッキー、そして「カレールライスチーム」のみんなは、

のみ子先生のおいしいカレールウクッキーを食べました。

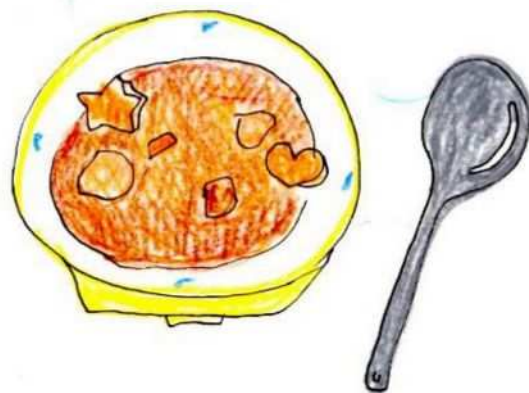




つかれた体^{からだ}にカレールウクッキーはとろとろしみわたり、釜^{かま}の中でやさしいオール先生^{せんせい}にあたまをなでられながら、みんなは、おいしいカレーになりました。

ちゅうかんやす お
中間休みが終わりました。井田本希君は、
じかんご きゅうしよくじかん たの
二時間後の給食時間を楽しみに、教室に
きょうしつ
もどっていきました。

おわり



かまたに いちろうせんせい